

幡羅中学校 教科名 (数 学)

基礎的な知識及び技能の習得とこれらを活用させるための
計算力・思考力・表現力をはぐくみ、学習形態やT Tの指
導法を工夫することによる「学習で心を磨く」生徒の育成

1 ねらい

机間指導や個人指導などから途中の式を書かない、計算の意味がわかっていない生徒がいることから、符号間違いやうっかりミスが多い。また身につけた知識や計算力を次の内容の学習に活用できななどの課題が見られる。

そこで基礎的・基本的事項の理解・定着を図りながら、数学的な思考力・表現力を育て、学ぶ意欲を高めるT Tの指導法の研究を行い、学習意欲を高め、基礎的な知識及び技能の確実な習得を図らせたい。

2 取組の概要

- (1) 学習規律の徹底 (チャイム三原則) チャイム着席・チャイム号令・チャイム黒板
- (2) 授業の導入で、適切な「既習事項の確認」を行う
- (3) 学習形態の工夫を図る。班活動
- (4) 掲示カードを活用し、学習のイメージ化を図る
- (5) 自己評価カード (忘れ物、授業態度、チャイム着席、授業理解度、感想等)
- (6) 見やすい理解しやすい板書の工夫を図る
- (7) 提出プリント (スパイラルファイル) の評価・集計
- (8) 授業記録 (写真等) を残して活用する
- (9) 定期テスト問題は、すべての問題の○×を記録に残す
- (10) 演習中の各レベルに対応した生徒への支援
- (11) プリントや教材等の配布
- (12) 学習に集中できない生徒への対応

3 研究の成果と課題

- (1) チャイム着席点検によって、授業の開始がスムーズに行われている
- (2) 既習学習の確認を黒板左隅に毎回書く。生徒は既習学習の内容の確認が短時間でできるようになった。
- (3) 教え愛学習の時間を設定し、課題を解決した生徒がまだの生徒に教える。その間教師は班別の学習状況の確認を行えるようになった。
- (4) 掲示カードとして、「数字カード」「アルファベットカード」「符号カード」「重要単語カード」「イラストカード」「連立方程式の解のカード」「重要公式カード」を作成し生徒の理解の手助けになった
- (5) 自己評価カードの記入で授業への参加意識が高まった
- (6) 板書計画を作成し見やすく理解しやすい板書を工夫した
- (7) 授業プリントを毎回提出させ評価を記入、一覧表にまとめることで、全体の取り組み状況の把握ができた
- (8) 授業記録を写真に残していくことで、1年間の変容をつかむことができた
- (9) 定期テストの結果も細かく分析し授業に生かすことができた
- (10) T Tによる指導の効果としてつまづきを早期発見し早期指導ができた
- (11) プリントの活用で授業の効率が良くなった
- (12) 集中を欠く生徒への対応もT Tによってスムーズにできた。